

新しい年を迎えて



▲浅山さん (右)

お年寄りと共に

浅山タミ子さん

(養寿苑) 本郷

新年あけましておめでとうございます。

養寿苑の開苑と共に一日々を、お年寄りと過す毎日が早や八年の月日を数え、あらためて、自分は何をしてきたのかと、振り返る年の始めでもあります。

施設だけでなく、在宅福祉においても、日常生活を営む上で必要とされるサービスを提供することが求められると思います。

養寿苑では今後高齢化の進む中、いろいろな問題がおこってくるだろうと予測しながらお年寄りが安心して住める場所として、養寿苑を地域の拠点として、思い残すことのない平穩に旅立ちできる家庭のような状態の中で心のケアの重要性を感じております。

お年寄りと共に健康に気をつけ頑張りたいと思います。

明るい農業をめざして

山本憲男さん

(農業) 赤屋

新年おめでとうございます。

昨今の農業事象は大変厳しく、新たな時代となりました。食管法が変わり、十一月から自由販売もできるようになり、生産農家も、ただ物を生産するだけではなく、消費者のニーズに応じた商品を販売する能力が必要になってきました。

畜産においても、輸入自由化により国内的にも和牛がピーク時の九七%に減少しています。幸い、子牛市場・枝肉市場は長い低迷時代を抜け上向きとなり、生産農家には明るい兆しが見えてきました。小規模農家としては、市場性のある子牛・肥育牛を育て、



農業政策を踏まえながら多くの力と知恵を出し、技術の向上を図り、二十一世紀に向かって明るい希望を持つてこの時代を乗り切りたいと思います。

なお、この三月で地区の小平小学校が廃校となり、家の下を通る朝夕の子供の声がなくなるのはとても寂しい思いますが、子供たちは新しい学校で頑張つて欲しいものです。

明日に向かって前進!

油谷湾と私

入江博幸さん

(漁業) 久津

新年明けましておめでとうございます。

高校を卒業し、すぐに漁業の道を選び、はや十年の歳月が過ぎました。油谷湾という限ぎられた海域の中で行なう底引き網に従事し、生活のほとんどを油谷湾に依存している私にとって、豊かな自然に恵まれた海に感謝している毎日です。

中国の古い諺に「長命を欲すれば四里四方のものを食せ」とあります。このことは、異



風土のものを日常に体に取り入れることは、自然の摂理バランスを崩すことにつながるということでもあります。

最近では、流通の発達により多くの輸入魚や、四季を問わずいろいろな野菜が沢山有り、季節の旬というものが忘れられています。もう一度地域でとれる魚や野菜に目を向け、生産者と消費者の間を近づけることが地域の発展、活性化につながり、又豊かな自然に感謝できると思います。

一次産業に従事している私達にとって、自然環境の破壊や変化は直接生活にひびいてきますが一人ではどうすることもできません。

これからも豊かな自然、魚の宝庫の油谷湾を末永く残していくため皆さんと共に頑張りたいと思います。

今以上を目指す

尾崎浩さん

(商工会青年部長) 駅通

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、「夢岬・楊貴妃祭」をはじめ、各種活動にご支援ご協力をいただき心より御礼申し上げます。

さて、元旦は、昨年一年間にしたことを振り返り、これから一年間に成し遂げたいことを考える時でもあります。

新年にあたり、私たち商工会青年部は、今後の油谷町の商工業を担う若者として、各青年部員が長期的な人生のビジョンと、それを達成するための明確な目標を持って、今以上の社会貢献をしたいと考えています。

それには、土台である会社が今以上に発展しなければなりません。効率よく働き、時間を作り、部員個人が人間的にも豊かになることが重要だと思っています。

私たちは、微力ながら、青年部活動を通して、また、仕事を通して「豊かな明るい油谷町」づくりに頑張ります。今後とも、ご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

